

令和8年度 第1回むつみ会委員会 記録

期日 6月27日(土) 会場 視聴覚室

1 会長挨拶

金厚 副会長

2 第1回「親の学び講座」 14:00~15:20

演題 「SNSトラブルおよび闇バイト防止研修会」

講師 窪野 ひとみ氏 (富山県警察本部 生活安全部 人身安全・少年課)

講演要旨

現在、インターネットは私たちの生活には欠かせないものである。一方で、嘘やいたずらなどの害のある情報が溢れていたり、悪意を持った人が利用していたりとマイナス面も多く、気を付けて使用しないと危険なツールでもある。「自分は大丈夫」が最も危険であり、誰でも簡単に被害者にも加害者にもなる可能性がある。特に SNS は児童・生徒が当事者となったトラブル・犯罪が多発し、男性、女性ともに被害に遭っている。

○実際にどんなトラブルがあるのか？

個人情報への投稿に関するトラブル

「匿名だからばれないだろう」と、けんかをした腹いせや、いたずら半分で相手の名前や学校名を SNS 上に投稿する。

→ この結果、投稿者が調べられて個人情報を晒されること

や、投稿者が非難され、SNS が炎上することもある。また、「友達限定なら大丈夫」「顔を出さなければ大丈夫」と思っているかもしれないが、顔を出さなくても、写真の風景から位置情報を特定されてしまったり、投稿の公開範囲を限定していても、友達に画像を保存され拡散されてしまったりする恐れがある。SNS に載せる情報の取扱いには十分注意すること、一度ネットに上がったものは残り続けてしまうこと、またその出来事が進学や就職などの大事な場面で足を引っ張ってしまうということをしっかりと子どもたちに指導してほしい。この他にも SNS 上での出会い、児童ポルノ、詐欺被害、薬物、闇バイト、オンラインカジノ、不正アクセス、盗撮の SNS トラブルの事例を紹介していただいた。



○SNS を安全安心に活用するために大事なこと

情報をうのみにしないこと、人を傷つける書き込みや嘘の書き込みをしないこと、個人情報を載せないこと。法律、マナーやモラル、思いやりを持って利用してほしい。

○最後に

問題行動の根っこは傷つき体験による不安やさみしさ、怒り、悲しみであり、自尊感情が欠落して孤独と自己否定で心が傷んでいる状態である。問題行動を止めるストッパーとなるのは、「自分は愛されている」といった「自尊心」や「自己肯定感」であり、これを

「お守り」として生徒の支えにできるよう、家庭や学校、大人によって育んでいくことが大切である。誰にでも悩みはあり、相談するには勇気が必要である。トラブル防止の第一歩として、子どもたちが安心して相談できる環境づくりを目指していきたい。



3 第1回むつみ会委員会 15:30~16:00

(1) 校長挨拶

番留 幸雄 校長

(2) 本校の進学状況について

小西 直美 進路指導部長

○本校の進学状況と今後の大学進学について

- ・ 今春の進学状況について
- ・ 今後の大学進学について
- ・ 入試に求められる力とは

(3) 部活動活動状況、2学期の学校行事について

村山 和夫 特活部長

- ・ 部活動加入状況、その他の体育文化活動部について
- ・ 北信越大会、インターハイ、全国高等学校総合文化祭に出場する部活動の紹介
- ・ 今後の学校行事について 野球応援、体育大会、文化活動発表会など
- ・ ミルクホールの紹介

(4) その他

- ・ 公開授業および第2回「親の学び講座」について
日時：11月13日（金）午後 講師：未定
- ・ 北辰協議会（夏季服装選択制に係る試行）

(5) 閉会のあいさつ

藤井 副会長